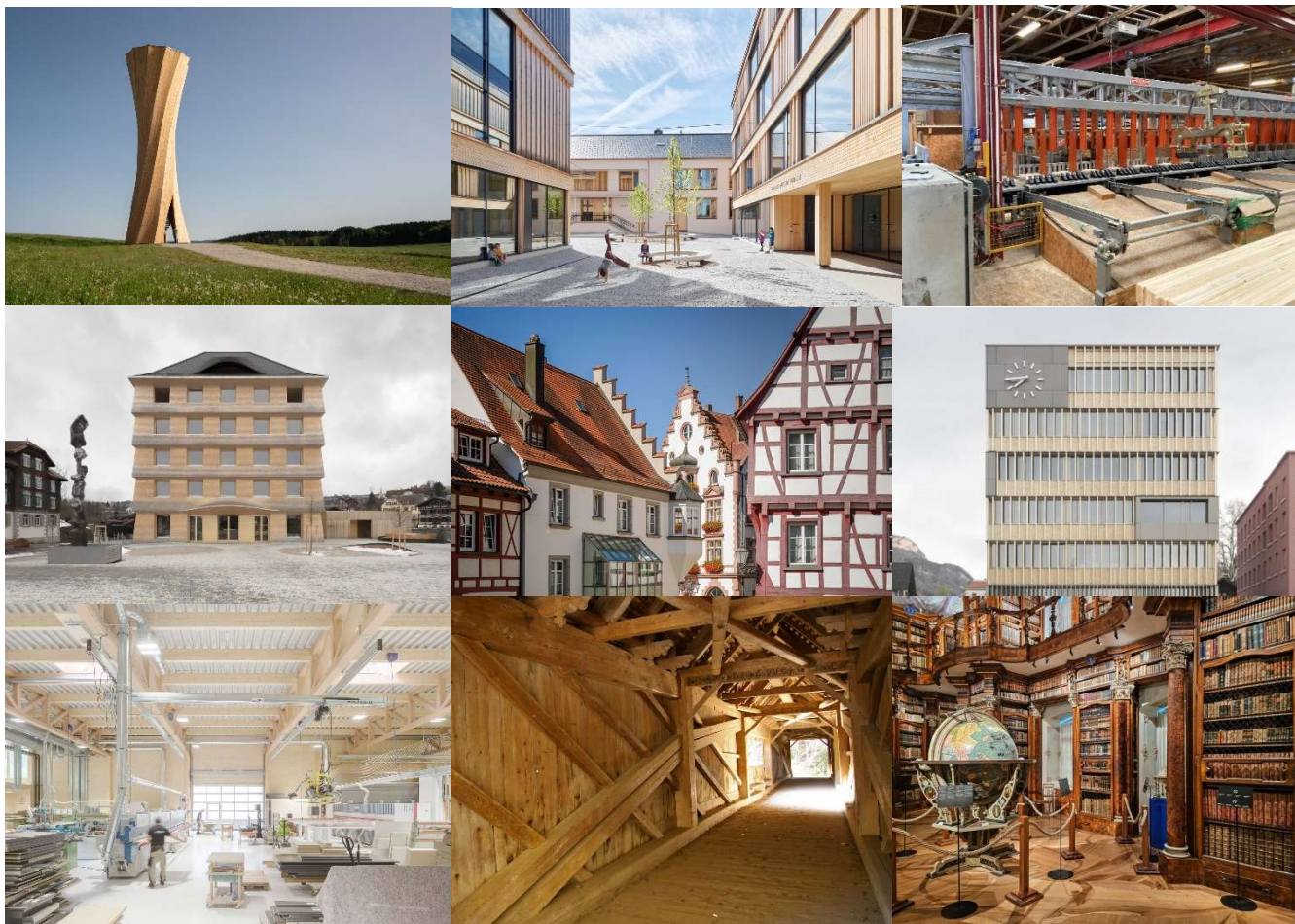


ドイツ・オーストリア・スイス 木材産業 & 建築視察・調査ツアー
森林資源を活用したヨーロッパ中山間地域の社会と産業を探る
 2026年9月14日（月）～20日（日）

訪問予定先の一例画像



脱炭素・ESG経営の観点から、建築物への木材活用が進んでいます。CLTをはじめとするマスティンバーの活用が進む中、CLTに限定せず多様な木質材料の活用を推進する動きもみられます。つい先日、省庁横断の「多様な木質材料の活用促進に関する関係省庁連絡会議」が発足したのもその一つの動きといえます。

MLT (Mechanically Laminated Timber) の一種である、欧州発祥のローテク木質材料DLTはそうした多様な木質材料の一つです。昨年末にDLTに関する国内初の書籍が出版されましたが、この出版を記念し、欧州での経験が長く、本著者の一人である法政大学網野禎昭教授にツアーに同行いただき、書籍で触れた欧州の木材産業事情を実際に説明を受けながら現地でも体感する、そんなツアーを開催致します。多様な木材活用の先進地、特にローテクイノベーション型木質材料の活用が進むドイツ、オーストリア、スイスの事例を見ることで、今後の日本の持続可能な木材活用や建築物の木造・木質化の未来を考えるヒントが得られるはずです。

ぜひ、林業、木材、建築、環境に関するビジネスや研究の最前線で日々実務を担う皆さまにご参加頂ければ幸いです。
 株式会社長谷川萬治商店



DLT 新しい木質材料が語る「持続可能な社会」のあり方 1980円（税込）

本視察のポイント：

- ①DLT生産メーカー、DLT工場&施工現場、中層木造建築、曲面CLT建築など欧州建築賞受賞作、伝統木造の遺構、世界最古の図書館（世界遺産）の視察。
- ②欧州経験が豊富な法政大学デザイン工学部教授網野禎昭先生がコーディネーターとして同行。視察先の木材産業、建築的な意義など解説を聞きながら視察が可能。随時質問や意見交換も可能です。

企画：法政大学デザイン工学部網野禎昭教授、株式会社日本テクノロジー研究所、株式会社長谷川萬治商店
 旅行取扱：西鉄旅行株式会社
 お問い合わせ：株式会社長谷川萬治商店 技術開発室 TEL:03-5809-8577 担当：鈴木康史
 E-mail : yasufumi.suzuki@haseman.co.jp

本視察の趣意

法政大学デザイン工学部 網野 禎昭



網野禎昭先生 プロフィール：
1996年に渡欧し、スイス連邦工科大学ローザンヌ校にて、Dr.sc.tech.取得。同校助手。この間、林業から建築の意匠・構造まで一貫して考える視点を学ぶ。ウィーン工科大学教員を経て、2010年から法政大学デザイン工学部教授。専門は建築構法、木造建築設計。日本や欧州の中山間地域を訪ね歩き、山を豊かにする建築のあり方を模索。

ヨーロッパの中でもライン川の東西に広がる地域は、様々な高付加価値産業が立地する豊かな地域として知られています。今回、皆様と視察するボーデン湖周辺は、この高度な産業地域にあって地場産木材の活用に取り組む木造先進地域でもあります。先進地域とは言っても、大規模な工場やビルが立ち並ぶということではありません。伝統的なクラフトマンシップが息づくこれらの地域では、小規模な企業がDLTを始めとする独自性の高い多品種少量生産に取り組み、中山間部の自治体では地域資源を活かしたコンパクトで持続可能なまちづくりを実現しています。脱大量生産時代のモデルと言っても過言ではありません。

本ツアーは次の**3つのテーマ**に沿って進行します。

少子高齢化に伴い、ダウンサイジングが余儀なくされる日本の未来を考える上でのヒントになる見学先を選びました。

①『ローテク・イノベーションで拓く木材産業』 シンプルな技術を駆使し、地域の木材活用を牽引するイノベティブな小規模企業や建築現場を訪ねます。

②『地域の木造建築賞の最新受賞作を巡る』 フォアアールベルク州の木造建築賞受賞作を訪ね、地産地消の木造建築の在り方を学びます。

③『ローカル・サステナビリティ政策と中山間地域のまちづくり』 小規模自治体を訪ね、オーストリア西部フォアアールベルク州での循環型社会構築の実践について学びます。

宿泊地にもこだわり、歴史的な街並みが美しい町々に宿泊する予定です。一日の見学を終え、晩夏のテラスで寛ぎながら、私たち日本の木材活用と地域の在り方について楽しく語らうことができればと思っております。最終日には、貴重な建築遺産の見学も組み込んでおります。皆様のご参加をお待ちしております。

旅程(案) 募集人員15名(最小催行人員10名)

9月14日 月 0日目	成田空港発 チューリッヒ空港 スイスエア
9月15日 火 1日目	テーマ：ローテク・イノベーションで拓く木材産業 ① ハーフティンバーが美しいPfullendorfにて休憩 ② Munderkingenにて昼食Gaststätte Rössle ③ DLTメーカーKaufmann社による建設現場の見学 ④ Kaufmann社訪問見学 中世の街並みが残るMemmingenで宿泊
9月16日 水 2日目	テーマ：地域の木造建築賞の最新受賞作を巡る ① シュツットガルト大学による木造タワーWangen Turmで休憩 (Holzbaupreis Baden-Württemberg 2026) ② 木造小学校Volksschule Hittisau (Vorarlberger Holzbaupreis 2025) ③ Eggにて昼食Sarah kocht in Posthaus (best architects 26 Award) ④ 地域歴史博物館Museum Bezau (Vorarlberger Holzbaupreis 2025) ⑤ 家具メーカーRüscher Gesellschaft mbH Tischlerei (Vorarlberger Holzbaupreis 2025, Best Workspaces 2026 awards) コンスタンツ湖畔の街Bregenzで宿泊
9月17日 木 3日目	テーマ：ローカル・サステナビリティ政策と中山間地域のまちづくり ① フォアアールベルクエネルギー研究所 (Energieinstitut Vorarlberg) 訪問、レクチャー ② ホヘネムス庁舎Rathaus Hohenems ③ 昼食Cafe Restaurant am Dorfplatz Ludesch (ルーデッシュ役場内) ④ ルーデッシュ役場Gemeindeamt Ludesch ⑤ ザンクト・ゲロール役場Gemeindeamt St.Gerold ⑥ プロンス役場Gemeindeamt Blons コンスタンツ湖畔の街Bregenzに滞在
9月18日 金 4日目	ボーナス・トラック ① 木造エレメントメーカー スイスLignatur社訪問 ② スイス伝統木造の最高峰H.U.グルーベンマンの遺構Kubelbrücke見学 ③ グルーベンマン博物館見学 Grubenmann Museum ④ 世界文化遺産 Abbey Library of Saint Gall (世界最古の稼働図書館) チューリッヒに宿泊
9月19日 土 5日目	チューリッヒ空港発ウィーン経由 オーストリア航空
9月20日 日 6日目	成田空港着